

東北日日新聞

刊休無中
石城郡
東北日日新聞社
石城郡平野町
電話四〇〇番

審判の日せまりて

戦じんに塗れる各候補

比佐・木村樂觀を許さず 氏家・佐藤盛んに攻撃を開始

戦況混沌として何人の豫断もいれ難くなつた第三區の四候補は昨十五日あたりで大体文書に言論に形の上の戦闘は一通り行はれたので、残る四日間こそ最も有利に勝利への一票を得る事に全力を集中せねばならず、トベロといわふか突撃戦といはふか根限り性限り縦横無盡にあらゆる秘略秘策を試むのである。最初双相二萬九千は木村比佐兩氏よくこれを守り得ば當選疑ひなき處であつただけ二郡根拠

修養會開催

十八日平第一校にて

平町立學校教員よりなる修養會は十八日午後一時より平第一小學校に於て開催せらるるが講演は島田忠雄氏良寛和尚の詩歌に就て等外數氏である

自動車の下敷

植田町の棒事

石城郡植田町小學校二年生鈴木勝美(一〇)は十五日午後三時頃同町小學校を中後方から疾走して來り植田自動車商會所有の鈴木高千代(六)の運轉する貨物自動車に轢き倒され頭部に全治三週間の重傷を負つた

勝ちやん

植田町の棒事

石城郡植田町小學校二年生鈴木勝美(一〇)は十五日午後三時頃同町小學校を中後方から疾走して來り植田自動車商會所有の鈴木高千代(六)の運轉する貨物自動車に轢き倒され頭部に全治三週間の重傷を負つた

混戦愈々深刻し

苦戦の木村候補

不遇の父に御盡力をこ子息守江氏の聲明書

拜啓春寒料峭の候や素の御無音をお詫び致します。御承知の通り父は前回の普選第一の選挙に於ては、皆様の非常なる御援助によりまして大人数の助にござりまして、これまでの歳

平明年度豫算額

六十三万圓内外

前年より一割を緊縮

第二期中水道工事は年内に認可か？

平町の明年度豫算編成は各々しく而して新規の事業は課からの提出も大体纏まつたもので近く査定を終へ来る。期水道擴張工事起債が認められれば五年年度への繰上りも果して年内に決まれば、五年年度豫算認可となるかどうかは頗る算は四年年度の緊縮豫算より疑問なるため當局は選挙に史に縣の方針にしたがつて、ごにお構ひなしに内務省へ一割を減じてゐるので六十お百度を踏んでゐる

本社後援の

關東北卓球大會

今日午前九時から開始

優勝は東北の雄仙卓組

回の経験により選挙の苦しみは散々なめ盡して居り、且又事業のため殆んど本財産を犠牲に供せねばならなかつた過去に於ける不遇の父の身の上、選挙や家財の爲めに種々な心配をかけてゐる親戚の方々の非常なる反對がありましたので、今度の激しい政戦に立たせて苦しませ度くはなかつたのです、然し事茲に至つては熱烈なる推薦への恩がへしの爲め、延いては地方國家のために一生に於ける最後の奉仕的奮闘をするやう、父に對して力づけてゐます。

住宅地所有

平町に
の市外居住者調査
平町も次第に人口増加にと
もないて田や畠は年々住宅
地と變つた。城山の一部分や
丁目の一方は新築家が激
増してゐるが平町役場の統
計に現はれた市外居住者の
中町に於ける住宅地所有は
左記の如くである

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

決勝

高倉 〇
藤田 〇
佐藤 〇
中山 〇
庄司 〇

言論戦が終り

次いで實弾

いまはしい風評に

取締當局嚴重警戒

黄金と金権と権力を
一の武器として政友内閣
が
民政候補がのしければ
一緊縮の美名をかりやく
下火となり期日もいよく

全國的國庫債券

變造行使團の一味

小泉浩等豫審終結

福岡銀行當争の事件と分離して

昨年十一月十六日午前十一時ごろ石城郡平町三丁目常時銀行中支店に化學應用を欺團一味である右五名は債券一枚を所持し金庫を中判に附されることになつた。小泉浩等からなる福島商業銀行在職時代の文書詐速職横領事件は右事件と分離して審理を繼續してゐる

体温
寒暖計
電話四〇〇番

日曜文苑

△歌壇▽

雪の日 大竹秋平
 ○夕日照る山の小路に雪解けつ
 見る眼まばゆく輝きにけり
 ○音もなく雪降りしきる
 田舎路を我一人にて歩み行きけり
 ○秋の夜の紅葉の蔭に泣く我の
 姿を思ひて悲しかりける
 ○ 島田忠夫抄 廣瀬恒一路
 ○冬の日は山ふところに照りみちて
 白くかがやく石切りごころ
 ○二階より洩れくる夫が口三味線われ
 はおのづと耳傾けつ
 ○ラデオにて聞き覚えし口三味線
 ぞと夫は吾にいひ譯すなる
 ○親しさも年ふる儘に忘れたる
 昔の友にめぐりあひたり
 ○君に遇ひ君と語ればあまりにもわが
 持つこゝろ食しかりけり
 ○冬山の日だまりにゐる谷川のせくら
 ぎの音聞きとめにつり
 ○ぬき落葉ふみのほりくゆ冬山の
 尾上の空はすみさわまれり

△詩壇
 加藤輝雄
 山寺 庫裡の
 金威かつい 石がめに
 寺の門 かけひの水の水の
 入れば冬日 落つる音
 ひそやかに 沼邊の宿
 白く煙つた よしのなか
 梅の木 船おいて
 御堂の宇の とう網つてば
 影深く 光る魚

よし切鳥は
 せはしげに
 岸邊に鳴いて
 透るこえ

椿の花咲く
 温泉の宿で
 沼が一日に
 み渡せる

平南町 電話 一二九番
上田外科醫院
 病室完備 入院隨意

御婚禮の御寫眞は
中島寫眞館
 御見合の御寫眞は

◎御子様御祝品賣出し
羽子板
破魔弓
 平町四丁目
スガノヤ提灯店
 電話七二二番

學生外套特賣
 ◆當店特製の生地裁縫共に申分な品
 です

小學生用	5圓80銭ヨリ
中學生用	11圓00銭ヨリ

なかや洋服店
 平二 電 203

別府温泉より生れた
 神の靈藥
温泉エキス
 定價 壹圓 五拾錢
 (一名あんないらず)
 ◎皆様是非お試し下さいませ
 此外用温泉エキスは今迄且つて世の中に無かつた
神秘的の妙薬であります連續使用しまして
 も副作用がありませんの効力が確實な事とは他
 藥品のひではありません

△萬病に靈効ある別府礦水
 定價 中瓶一圓 徳用一升瓶三圓
 平町五丁目

一手販賣店 **山野邊藥局**
 一、藥事衛生の相談は弊局へ
 一、仁丹體溫計フエバー體溫計特約店

金解禁後の
 驚クベキ破格ノ値下ゲ斷行
 特ニ此場合洋服調製ヲ
 才勸メ致シマス
 平町田町
大崎洋服店
 電話七二三番

特賣!
たひら正宗 福島縣清酒品評會
 一等賞受領
花春 同優等賞受領
 鹽屋最上醬油釀造元
山崎合名會社
 平町十橋 電話一〇番二七番
 東京上野車坂四三
東京支店
 電話下谷五七二番

高久病院
 電話五二三番

内科、小兒科	醫學士 高久 忠
外科、花柳病科	新瀨醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科	藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科	

平名物
あわもち
だんご
萩の餅
染野餅菓子店
 新田町
 二三番隣り

◆現代醫藥界ノ驚異
飲マズニ治ルコリサ浸透療法
 肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用コリサ
 論より證據百聞一見に不如
 醫學博士：内野先生實驗 醫師：吉松先生發見
 定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料 内地十二錢
 特大瓶醫家用：二圓七十錢 送料 海外四十五錢
 平町一丁目
大平屋藥舖
 電話六四二番
 回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込め
 試用藥々浸透療法の小冊子を郵送す
 大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部